

「建物火災による死傷者が増えています！」



管内の、建物火災のうち約7割が住宅火災で、
例年より多くの死傷者が出ています。
全国的にも、火災による死者のほとんどが
住宅火災により亡くなられています。
その中で、約7割が65歳以上の高齢者となっています。



※：「今後、高齢化が進むことにより、
住宅火災による死者の大幅な増加が懸念されます。」



「火災から自分の身を守るためには、
火災の発生を早く知ることです。」



住宅用火災警報機は
定期的に点検しましょう。

お宅の「住宅用火災警報器」は、大丈夫ですか？
いざという時のために、日ごろの維持管理が重要です！

- ※：住宅用火災報知器は、すべての住宅への設置が義務付けられています。
まだ、設置されていない方は、早期の設置をお願いします。
- ※：住宅用火災警報器の設置が義務化となって10年になります。
既に、設置されている方は、定期的な点検等をしてください。
(電池交換や機器の交換が必要な場合があります。)

「大切な命を守る 火の用心 7つのポイント」

- 1 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 2 コンロで火を使っているときは、その場を離れない。
- 3 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- 4 風の強いときは、たき火をしない。
- 5 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線をしない。
- 7 ストープの周りには、燃えやすい物を置かない。